

高齢者生活状況アンケート・介護保険サービス利用状況アンケートの
調査結果の概要

1 調査の方法

	①高齢者生活状況アンケート	②～④介護保険サービス利用状況アンケート
調査期間	平成26年1月9日から1月31日まで	
調査対象	平成25年12月1日時点において、市内に居住している65歳以上の高齢者	平成25年12月1日時点において、要支援・要介護認定を受けている被保険者（施設入所者含む）
抽出方法	住民基本台帳より無作為抽出	要支援・要介護認定を受けている被保険者より無作為抽出（施設入所者含む）
調査方法	配布・回収とも郵送	

2 回収状況

	種類	配布数	回収数	回収率
①	高齢者生活状況アンケート	4,000	2,662	66.6%
②～④	介護保険サービス利用状況アンケート	3,500	2,026	57.9%
②	在宅サービス利用者	1,900	1,160	61.1%
③	施設・居住系サービス利用者	800	418	52.3%
④	介護保険サービス未利用者	800	448	56.0%
	合計	7,500	4,688	62.5%

3 調査結果の概要

(1) 高齢者生活状況アンケート

① 高齢者生活状況アンケート

問6 世帯構成 ～ ひとり暮らしは2割弱、65歳以上だけの世帯は約6割

「夫婦ふたり暮らし（配偶者は65歳以上）」が38.4%で最も多く、「その他の家族が同居（65歳未満の方も同居）」が33.2%、「ひとり暮らし」が16.8%となっています。

問8 健康状態 ～ 「特に病気や障がいはない」が最も多い

「特に病気や障がいはない」が50.6%で最も多く、次いで「病気や障がいがあるが、身のまわりのことや外出は大体自分でできる」が42.9%となっています。

問 16 認知症になっても地域で生活するために必要なこと

～ 「早期発見・早期診療」が最も多い

「認知症の早期発見・早期診療のしくみ」が 61.3%で最も多く、次いで「認知症に関する正しい知識や理解を広めること」が 52.2%、「認知症を予防する取り組み」が 49.8%、「認知症の人を支える施設やサービス」が 47.3%となっています。

問 17 日常生活で困っていること ～ 「将来のこと」、「身体健康状態」が多い

「将来のこと」が 16.6%で最も多く、次いで「身体健康状態」が 15.1%、「急病など緊急時のこと」が 14.1%、「収入や生計のこと」が 12.2%となっています。「特になし」は 48.1%でした。

問 25 見守りや声かけの希望 ～ 「緊急通報システム」が最も多い

「緊急通報システムによる見守り（緊急時にボタンを押すと、消防署や警備会社に連絡できます）」が 23.1%で最も多く、次いで「近所の人や地域のボランティアによる見守り」が 18.8%、「地域包括支援センター職員による見守り」が 17.0%、「電話訪問（週 1 回電話による見守りを行います）」が 8.2%となっています。「希望しない」という回答は 43.9%でした。

問 31 近所づきあいの程度 ～ 「あいさつをする程度」が最も多い

「あいさつをする程度のつきあいが多い」が 36.0%で最も多く、次いで「立ち話をする程度のつきあいが多い」が 34.2%、「家に行き来するなど、親しくつきあっている人がいる」が 20.0%、「近所づきあいはほとんどない」が 7.7%となっています。

問 33 地域の手助けの希望 ～ 「見守りや安否確認など」、「災害時の手助け」が多い

「見守りや安否確認など」が 30.3%で最も多く、次いで「災害時の手助け」が 29.2%、「ちょっとした買い物やゴミ出し」が 24.9%、「食事づくりや掃除、洗濯の手伝い」が 15.1%となっています。「特になし」は 29.0%でした。

問 44 介護が必要になったときの希望 ～ 「自宅で介護」が 6 割弱

「自宅で介護保険サービスを利用しながら生活したい」が 38.5%で最も多く、次いで「自宅で主に家族などの介護を受けながら生活したい」が 17.9%、「特別養護老人ホームに入所したい」が 9.1%、「高齢者向けの賃貸住宅で、介護保険サービスを利用しながら生活したい」が 7.2%となっています。

問 45 自宅で暮らし続けるための課題 ～ 「家族だけでは、十分な介護が難しい」が最も多い

「家族だけでは、十分な介護が難しい」が 59.7%で最も多く、次いで「家族の経済的負担が大きい」が 36.6%、「緊急時の対応に不安がある」が 31.1%、「在宅の介護保険サービスだけでは、十分な介護が難しい」が 30.1%となっています。

問 46 重要だと思う高齢者福祉の取り組み

～ 「趣味や生きがいがづくり、社会活動参加への支援」が最も多い

「趣味や生きがいがづくり、社会活動参加への支援」が 53.0%で最も多く、次いで「健康づく

りや介護予防のための支援」が 45.6%、「在宅の介護保険サービスの充実」が 40.0%、「特別養護老人ホームなどの入所施設の整備」が 36.6%となっています。

(2) 介護保険サービス利用状況アンケート

② 在宅サービス利用者

問 4 要支援・要介護認定 ～ 「要介護2」が最も多い

「要支援2」が 24.2%で最も多く、次いで「要介護2」が 20.6%、「要支援1」が 15.8%、「要介護1」が 15.5%となっています。要支援の方は約4割、要介護の方は6割弱となっています。

問 14 介護者（家族・親族）の就労状況 ～ 働いている方は3割弱

「もともと働いていなかった」が 32.6%で最も多く、次いで「パート・アルバイトとして働いている」が 12.2%、「正社員として働いている」が 10.6%となっています。

問 15 介護者（家族・親族）が困っていること

～ 「介護者自身の健康」、「緊急時の対応」が多い

「介護者自身の健康に不安がある」が 47.8%で最も多く、次いで「緊急時の対応に不安がある」が 42.9%、「精神的につらい」が 39.9%、「代わりを頼める人がいない」が 35.6%、「体力的につらい」が 34.0%となっています。

問 20 サービスの利用状況 ～ 「通所介護（デイサービス）」が最も多い

利用が多いサービスとしては、「通所介護（デイサービス）」が 46.9%、「福祉用具の貸与」が 39.0%、「訪問介護（ホームヘルプ）」が 33.9%となっています。

問 26 利用者負担に対する感じ方 ～ 「このくらいの負担はやむを得ない」が最も多い

「このくらいの負担はやむを得ない」が 50.3%で最も多く、次いで「あまり負担に思わない」が 20.3%、「今の負担では苦しい」が 10.1%となっています。

問 28 地域密着型サービスの利用意向

～ 「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が最も多い

「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が 28.6%で最も多く、次いで「地域密着型特別養護老人ホーム」が 19.9%、「小規模多機能型居宅介護」が 19.4%、「夜間対応型訪問介護」が 16.6%となっています。

問 29 サービス事業者に希望すること

～ 「対応が丁寧」、「ケアマネジャーとの連携」が多い

「対応が丁寧であること」が 53.1%で最も多く、次いで「ケアマネジャーとの連携がよく取れていること」が 52.8%、「介護技術が確かなこと」が 50.3%、「自分や家族の話をきちんと聞いてくれること」が 50.1%となっています。

問 30 市が力を入れるべきこと ～ 「サービス事業者の質の向上」、「入所施設の整備」が多い

「サービス事業者の質の向上」が 38.0%で最も多く、次いで「特別養護老人ホームなどの入所施設の整備」が 37.4%、「介護保険サービスの情報提供の充実」が 36.7%、「ホームヘルプやデイサービスなどの在宅サービスの充実」が 35.5%となっています。

③ 施設・居住系サービス利用者

問 4 要支援・要介護認定 ～ 「要介護5」が最も多い

「要介護5」が 23.3%で最も多く、次いで「要介護3」が 22.6%、「要介護4」が 21.9%、「要介護2」が 13.7%となっています。

問 10 施設での生活で困っていること ～ 「外出の機会が少ない」が最も多い

「外出の機会が少ない」が 21.6%で最も多く、次いで「日中の過ごし方に不満がある」が 16.1%、「緊急時の対応に不安がある」が 10.1%、「介護や看護の内容が良くない」と「相談できる相手がない」がそれぞれ 7.0%となっています。「特にない」は 45.7%でした。

問 11 施設利用料の負担感 ～ 「このくらいの負担はやむを得ない」が最も多い

「このくらいの負担はやむを得ない」が 58.9%で最も多く、次いで「今の負担では苦しい」が 17.3%、「あまり負担に思わない」が 9.9%となっています。

問 14 在宅生活に戻る場合の課題

～ 「家族だけでは、十分な介護が難しい」が最も多い

「家族だけでは、十分な介護が難しい」が 68.5%で最も多く、次いで「夜間の介護や見守りに支障がある」が 58.4%、「住まいに支障がある」が 53.6%、「緊急時の対応に不安がある」が 48.6%となっています。

問 15 市が力をいれるべきこと ～ 「入所施設の整備」が最も多い

「特別養護老人ホームなどの入所施設の整備」が 52.9%で最も多く、次いで「サービス事業者の質の向上」が 33.9%、「認知症に関する施策の充実」が 30.5%、「医療機関と介護サービス事業所の連携推進」が 29.3%となっています。

④ 介護保険サービス未利用者

問 4 要支援・要介護認定 ～ 「要支援1」が最も多い

「要支援1」が 37.4%で最も多く、次いで「要支援2」が 23.7%、「要介護1」が 12.3%、「要介護2」と「要介護4」がそれぞれ 5.6%となっています。要支援の方は約6割、要介護の方は約3割となっています。

問 14 介護者（家族・親族）の就労状況 ～ 働いている方は2割あまり

「もともと働いていなかった」が30.6%で最も多く、次いで「パート・アルバイトとして働いている」が10.6%、「正社員として働いている」が8.5%、「契約社員・派遣社員等として働いている」が4.2%となっています。

問 15 介護者（家族・親族）が困っていること

～ **「介護者自身の健康」、「緊急時の対応」が多い**

「介護者自身の健康に不安がある」が43.0%で最も多く、次いで「緊急時の対応に不安がある」が35.2%、「代わりを頼める人がいない」が30.3%、「精神的につらい」が25.4%、「体力的につらい」が25.0%となっています。

問 18 介護保険サービスを利用していない理由

～ **「まだ利用するほどでもない」が最も多い**

「特にまだサービスを利用するほどでもないため」が42.7%で最も多く、次いで「家族などに介護してもらっているため」が22.8%、「利用したいが、サービスの利用方法がわからないため」が14.3%、「入院中であるため」が12.1%となっています。

問 20-2 地域密着型サービスの利用意向

～ **「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が最も多い**

「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が20.1%で最も多く、次いで「夜間対応型訪問介護」が18.1%、「地域密着型特別養護老人ホーム」が17.0%、「複合型サービス」が16.6%となっています。

問 21 サービス事業者希望すること

～ **「対応が丁寧」、「自分や家族の話をきちんと聞く」が多い**

「対応が丁寧であること」が63.8%で最も多く、次いで「自分や家族の話をきちんと聞いてくれること」が60.4%、「介護技術が確かなこと」が57.5%、「ケアマネジャーとの連携がよく取れていること」が56.6%、「主治医との連携が取れていること」が55.5%となっています。

問 22 市が力を入れるべきこと ～ 「介護保険サービスの情報提供の充実」が最も多い

「介護保険サービスの情報提供の充実」が51.5%で最も多く、次いで「特別養護老人ホームなどの入所施設の整備」が43.0%、「サービス事業者の質の向上」が40.7%、「医療機関と介護サービス事業所の連携推進」が40.5%となっています。